

漬け瓜の育て方

漬け瓜はウリ科の1年草で、インドから南アジア附近が原産とされています。日本には朝鮮半島より伝わっており、かなり古い時期に伝わってきました。種類のには大きく分けて3つに分けられ、①シロウリ、②カタウリ、③シマウリにわけられます。名前の通り用途としては奈良漬などの漬物加工用として利用されることが多い。

■ 年間カレンダー

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般地	タネまき												
	定植												
	収穫												

発芽温度が高いので、低温期のタネまきは加温施設が必要です。収量を確保するために親づるは本葉4~5枚で摘芯し、子づるを3~4本伸ばす。子づるは葉が10枚程度のところで摘芯し、孫づるを伸ばします。

発芽適温: 25~30℃ 生育適温: 25~30℃
 土壌適応性: pH6.0~7.0 輪作年限: 2~3年

1 畑の準備

植え付けの2週間前位に堆肥と石灰、油粕・化成肥料等を散布し、よく深耕しておきます。肥料は根を作るために堆肥を十分に混ぜ込んでください。

2 タネまき

ポットにタネまき用の培土を入れ、土を湿らしてから2~3粒種をまきます。定植までには1本に間引きをしてください。



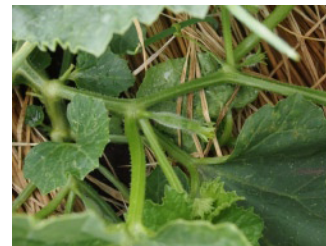
3 管理



100~120cm程度のマルチを張り、本葉が4枚程度で株間70~80cm間隔に定植を行います。定植後、稲わらなどをマルチの上に敷きます。



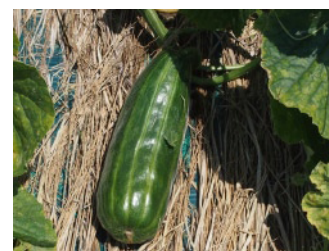
親づるは本葉4~5枚で摘芯し、伸びてきた子づる3~4本を四方に伸ばします。子づるも10枚程度で摘芯し、孫づるを伸ばします。



着果した頃、追肥をしてください。

4 収穫

果実の長さが20~25cm程度で収穫をしてください。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

